

## キャンペーンの進捗状況

2021.4.1



日本学術会議の総会を控え、任命拒否を撤回させる署名

Yoshinobu Masuda

「日本学術会議の総会を控え、任命拒否を撤回させる署名にご協力ください」をお願いした気象学者で、元日本学術会議会員の増田善信です。この署名運動を立ち上げて1カ月ですが、44,453名(4月1日12時)と“私自身が驚くほど”多数のご賛同を頂きました。ご自身のサインだけでなく、多くの方に拡散していただいた結果であり、心から御礼申し上げます。有難うございました。

今日、4月1日は菅首相が任命拒否した昨年10月1日から半年の節目の日です。マスコミがこの日をどのように取り上げているかをインターネットで調べてみました。しかし、この問題を取り上げているのは「しんぶん赤旗」だけで、現役会員で法学委員会幹事の高山佳奈子京大教授がインタビューに答えて、「推薦は生きている」と語っておられます。

このように、半年もたてば、任命拒否問題も国民の目からも消えつつあります。恐らく菅首相はそれを狙っていると思います。しかし、この任命拒否を認めれば日本学術会議の独立性が侵され、学問の自由、言論の自由が脅かされるのです。絶対に許してはなりません。再度世論を盛り上げるためにご協力ください。締め切りは4月15日です。学術会議の総会(4月21~23日)までに、何としても任命拒否を撤回させるために、皆様のご協力をお願いします。再度の訴えです。どうかよろしく願います。